



第 31 回ジュニア文化祭

—岐阜県青少年文化活動交流発表会—

プログラム



日にち：平成 29 年 12 月 9 日（土）

開演：午後 1 時 00 分（開場：午後 0 時 30 分）

場所：揖斐川町地域交流センター はなもも

ジュニア文化祭とは

平成 11 年 3 月に第 1 回を開催し、今回は 31 回目を迎えます。これまでに、延べ 152 団体の方々に演技を披露して頂きました。

次代の文化活動を担う小学生・中学生・高校生(ジュニア)の活動を応援し、地域の文化活動や伝統文化を継承していくことを目的としています。

『一生懸命に、覚えた演技を披露する！』『がんばって作りあげた曲をみなさんに聴いていただく！』といった楽しい意味合いが大きい祭典です。

文化祭当日は、出演者全員による交流の場を設け、ジャンルや地域の異なる団体間のネットワークづくりも進め、伝統文化の担い手育成に取り組んでいます。

主催：(公財) 岐阜県教育文化財団、岐阜県青少年文化活動育成推進協議会

共催：岐阜県、揖斐川町

協賛：OKB 大垣共立銀行

後援：大野町、池田町、岐阜県教育委員会、関市教育委員会、揖斐川町教育委員会、大野町教育委員会、池田町教育委員会

協力：岐阜県立岐山高等学校、岐阜県立池田高等学校

ジュニア文化祭は、OKB 大垣共立銀行の協賛をいただいています

1 関市獅子舞保存会 下有知支部 (獅子舞)

演目：「悪魔祓い」

邪を祓い、悪魔を退治する。五穀豊穰、家内安全、商売繁盛等々願って舞う。めでた事や神前にて祈って舞う神楽といわれています。

今回出演する子どもたちは、獅子舞の文化を次へと伝えてくれる金のタマゴです。大切な伝統文化が、永遠に受け継がれることを願っています。皆さんに感動していただけるように一生懸命発表します。



2 いび祭り子ども歌舞伎保存会 (義太夫)

1. 寿式三番叟

ご祝儀に演奏される曲です。もともとは、五穀豊穰を願った神事を取り入れたもので、曲調も荘厳な部分と大地を踏みならすリズムカルな部分とが入り交っています。

2. 小鍛冶の合方

時の帝の命により三条小鍛冶が伏見稻荷の助けで、名刀「小狐丸」を鍛えあげる物語です。この合方は刀を打つ音を表現しています。お稽古をはじめたばかりの生徒もいますが、心をひとつにして頑張ります。

3. 傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

「傾城阿波の鳴門」は阿波徳島の藩主の家宝の刀が盗まれたため、家臣の十郎兵衛とその妻お弓が盗賊にまぎれ、悪人から刀を取り返しにいくというお話です。その中で、今日上演する「順礼歌の段」は、悪事をしながら刀を探しているため、身をひそめて生活しているお弓の所へ、かわいいおんなの子の順礼がやってきた場面です。

4. 音冴春白月 団子売の段

越後名物の「かんかち団子」売りが大阪へでてきて、路上実演販売したさまで。童謡、高砂の松の目出度い歌で軽妙に踊る所作事で、餅つきのくだりは清え節の「玉兔」が義太夫に置き替えられています。



3 岐阜県立岐山高等学校 箏曲部 (箏曲)

1. 六段の調

近世箏曲の祖である八橋検校作曲「六段の調」に琴Ⅱ、十七絃を加えて編曲されたものです。

2. さくら・21

「さくら・21」という曲名は世代を超え時代を超え、21世紀への夢の懸け橋になってほしいという願いを込めてつけられたものです。

3. 月下美人

月下にゆっくりと咲いだす純白の花。一夜限りの華やかさと儚さは箏の音色にも似ている。その箏の清楚な華やかさを「月下美人」にたとえて作られた曲です。



4 揖斐川町立揖斐川中学校 吹奏楽部 (吹奏楽)



1. 聖者の行進

「聖者が街にやって来る」の別タイトルでも知られる、ジャズの定番曲です。みなさんがどこかで耳にしたことのある、有名な曲です。

2. どんなときも

「自分の大切なものをしっかり持って前へ進んでいこう」と、前向きなメッセージが込められている、榎原敬之のヒット曲です。本日は、そんなメッセージを、吹奏楽バージョンでお届けします。

3. ロマネスク

吹奏楽において様々な楽曲を作曲しているジェイムズ・スウェアリンジェンの代表的な作品の一つです。ゆったりとしたテンポで美しい旋律が魅力的な曲です。

4. 学園天国

70年代にヒットした、フィンガー5の人気ナンバーです。世代を超えて知られているこの曲は、とてもノリが良く、抜群のビート感が抜群のかっこいい一曲です。



5 揖斐川町立大和小学校 (太鼓踊り)

1. 道行(みちゆき)～津きじ(つきじ)～社儀礼(しゃぎり)

神社に向かう道中での踊りである「道行」、神社を参拝するときの「津きじ」、そして、神社に奉納する「社儀礼」。桂古代踊りのもっとも根幹を成す太鼓踊りです。

2. 桂の郷(さと)

その昔「加津羅(かつら)」の下浜で漁をしていたところ、なんとも不思議な魚が網にかかったという故事を謡にし、お囃子と太鼓踊りを付けた桂古代踊りの伝統的な曲です。

3. 四十雀(しじゅうから)

山を追われて里に出て鳴く四十雀…昔の桂地区の原風景を詠んだ歌を、四十雀の鳴き声や動きのように軽快なお囃子と太鼓踊りで演じます。



6 揖斐川町立坂内小中学校 (太鼓演奏)

1. 夜叉龍太鼓「絆」

全校児童生徒5名が締太鼓で演奏をします。全員で打つ、一人で打つ、順番に打つ。いろいろな場面があります。5人の「絆」が感じられる演奏をお楽しみください。

2. 夜叉龍太鼓「夜叉」

毎年7月に坂内地区で行われる「夜叉ヶ池伝説道中祭り」。そこで披露する服部勝利氏作曲の坂内小中学校オリジナル曲『夜叉』。今年は5人の編成で演奏します。力強い、心をひとつにした演奏をお楽しみください。